

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2000-289874(P2000-289874A)

【公開日】平成12年10月17日(2000.10.17)

【出願番号】特願平11-93817

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 3/48

B 6 5 H 3/08

G 0 3 F 7/20

【F I】

B 6 5 H 3/48 3 1 0 Z

B 6 5 H 3/08 3 1 0 A

G 0 3 F 7/20 5 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月1日(2005.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷版の一端部を支持して、定盤上を搬送する印刷版搬送装置であって、
前記印刷版の一端部を吸着して保持する吸着手段と、
前記印刷版の一端部を吸着した吸着手段を所定の方向へ移動させることにより該印刷版を移動させる駆動手段と、
前記吸着手段と一体的に設けられ、前記吸着手段によって吸着された印刷版の下面側へ向けてエアを噴出して供給するエア供給手段と、
を含むことを特徴とする印刷版搬送装置。

【請求項2】

前記駆動手段の搬送に合わせて前記エア供給手段を作動させる搬送制御手段を、含むことを特徴とする請求項1に記載の印刷版搬送装置。

【請求項3】

印刷版の一端側を吸着保持して定盤上を搬送する搬送手段と、画像焼付け時に前記印刷版ないし前記原稿フィルムを前記焼付定盤上に吸着保持する吸着保持手段と、を備え、前記搬送手段によって搬送される印刷版を前記定盤上に載置して原稿フィルムに記録された画像を密着露光によって焼付ける版材焼付装置であって、
前記印刷版と前記定盤の間へエアを供給可能とするエア供給手段と、
前記搬送手段によって前記印刷版が前記定盤上を移動されるときに前記エア供給手段を作動させる搬送補助手段と、
を含むことを特徴とする版材焼付装置。

【請求項4】

前記定盤上に形成された噴出し孔に供給するエアを噴出し孔から定盤の上方へ噴き出すことにより、前記印刷版と定盤との間ないし前記原稿フィルムと定盤との間の前記吸着保持手段による密着を解除する噴出し手段を備えているときに、該噴出し手段を前記エア供給手段として用いることを特徴とする請求項3に記載の版材焼付け装置。

【請求項5】

前記エア供給手段として、前記搬送手段にエアノズルが設けられていることを特徴とする請求項3又は請求項4に記載の版材焼付装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

これにより、印刷版が定盤上を移動するときには、定盤と印刷版との間に空気層が生じ、印刷版が定盤に貼り付くのを防止することができる。また、印刷版と定盤との間に空気層が形成されることにより、印刷版が定盤上を滑らかに移動することができる。

このような本発明においては、前記駆動手段の搬送に合わせて前記エア供給手段を作動させる搬送制御手段を、含むことができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の版材焼付装置は、印刷版の一端側を吸着保持して定盤上を搬送する搬送手段と、画像焼付け時に前記印刷版ないし前記原稿フィルムを前記焼付定盤上に吸着保持する吸着保持手段と、を備え、前記搬送手段によって搬送される印刷版を前記定盤上に載置して原稿フィルムに記録された画像を密着露光によって焼付ける版材焼付装置であって、前記印刷版と前記定盤の間へエアを供給可能とするエア供給手段と、前記搬送手段によって前記印刷版が前記定盤上を移動されるときに前記エア供給手段を作動させる搬送補助手段と、を含むことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

この発明によれば、印刷版及び原稿フィルムを定盤に密着させ、密着露光によって画像焼付けを行う。印刷版を、このような定盤上を搬送するときには、エア供給手段によってエアを供給して、印刷版が定盤に密着するのを防止する。これにより、印刷版を滑らかに搬送することができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の版材焼付装置は、前記定盤上に形成された噴出し孔に供給するエアを噴出し孔から定盤の上方へ噴き出すことにより、前記印刷版と定盤との間ないし前記原稿フィルムと定盤との間の前記吸着保持手段による密着を解除する噴出し手段を備えているときに、該噴出し手段を前記エア供給手段として用いることを特徴とする。

この発明によれば、密着露光によって画像焼付けを行った後に、印刷版ないし原稿フィルムを定盤上から取り出すときに、噴出し孔から噴き出すエアによって印刷版ないし原稿フィルムと定盤との密着状態を解除する噴出し手段を用い、搬送手段によって印刷版が片持ち状態で搬送されるときには、搬送補助手段が、噴出し孔へエアを供給する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

噴出し孔に供給されたエアは、噴出し孔から定盤上へ噴出され、このときに定盤上を印刷版が移動すると、このエアが印刷版の下面側へ向けて噴き出されることになり、印刷版と焼付定盤との間に空気層が生じ、印刷版を定盤に貼り付かせることなく、滑らかに移動させることができる。

また、本発明の版材焼付装置は、前記エア供給手段として、前記搬送手段にエアノズルを含むことができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

ソレノイドバルブ 270A は、吸着溝 202 に接続されている真空エジェクタ 272 にエアを供給し、ソレノイドバルブ 270B は、吸着溝 204A、204B に接続されている真空エジェクタ 272 へエア供給する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0100

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0100】

【発明の効果】

以上説明したように本発明の印刷版搬送装置は、印刷版の片持ち状態で搬送するとき、エア供給手段が印刷版の下面側にエアを供給する。また、本発明の版材焼付装置では、定盤上を印刷版が片持ち状態で搬送されるときに、搬送補助手段が印刷版と定盤の間にエアを供給する。